

# 交通安全運動の目的

この季節は、天候が良くなり野外での行事等が多くなるとともに、観光、ドライブなどレジャーや各種産業が活発化し、交通量が急激に増加することから交通事故の多発が懸念されます。この運動は、道民一人ひとりに交通安全意識の高揚を図るとともに、交通ルールの厳守と交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

# 交通安全運動の進め方

関係機関・団体は相互の連携を密にしながら、それぞれ創意工夫を凝らした取り組みを行うものとします。そして、その実情に即した具体的な計画を策定するとともに、各種交通安全活動等を積極的に実施し、広く住民参加による運動を推進します。

## 観光、行楽に伴う交通事故防止

### 運転者の皆さんは

○時間にゆとりをもち、安全な速度で走行し無理な追い越しはやめましょう。  
○長時間・長距離の無理な運転にならないよう、2時間ごとに1回の休憩をとるようにしましょう。

### 同乗者の皆さんは

○運転者に対して、スピードの出し過ぎや、あおり運転などをしないよう声をかけ、安全運転を実践させましょう。

### 家庭では

○運転中に眠気を感じたら、安全な場所で短時間の仮眠をとるなど、無理な運転は絶対にしないよう、家族で注意しましょう。

### 学校等では

○家庭や地域との連携を密にし、登下校時及び帰宅後の交通事故防止に努めましょう。  
○基本的な交通ルールのほか「ながらスマホ」などの危険性を理解させましょう。

### 職場では

○職場ぐるみの交通安全教育を積極的に実施し、スピードの出し過ぎや無理な追い越しなど無謀運転防止に努め、疲労がたまる無理な運転はしないよう徹底しましょう。

## 高齢者の交通事故防止

### 運転者の皆さんは

○高齢者の道路横断にも対応できる安全な速度で運転しましょう。  
○信号機の設置されていない横断歩道については、歩行者優先を守り、高齢者の安全な通行を確保しましょう。

### 高齢者の皆さんは

○外出するときは、明るい服装を心がけ、反射材用品等を身に付けましょう。  
○道路を横断するときは、横断歩道を渡りましょう。  
○交通安全講習会などに参加し、交通ルールや加齢に伴う身体機能の変化などを理解しましょう。

### 家庭では

○家族が外出するときは、「交通事故に気をつけて」のひと声をかけましょう。  
○運転に不安をもつ家族がいる場合は、免許の自主返納についても話し合ひましょう。

### 職場では

○朝礼、会議等の機会を利用して、高齢歩行者に配慮した安全運転の励行や家庭での交通安全の周知徹底を呼びかけましょう。

### 地域では

○町内会や老人クラブ、その他の施設などの行事に併せて、高齢者を対象とした交通安全教室を開催するなど、地域の特色ある活動を展開しましょう。

## 自転車の安全利用の推進

### 運転者の皆さんは

○交差点等における一時停止、安全確認を徹底し、自転車との事故を防止するとともに、自転車を追い越すときは、安全な間隔を確保しましょう。

### 自転車を利用する皆さんは

○「自転車安全利用五則」を理解し、自転車も車両として交通ルールを守らなければならないことをよく認識しましょう。  
○自転車損害賠償保険等への加入、夕暮れ時は早めのライト点灯に努めましょう。  
○イヤホン使用や傘差し、「ながらスマホ」の片手運転などの危険な行為はやめましょう。

### 家庭では

○自転車の点検・整備に努め、自転車に乗車するときは、乗車用ヘルメットを着用するとともに、自転車損害賠償保険等に加入しましょう。

### 学校等では

○「自転車安全利用五則」や「北海道自転車条例」の周知を図るとともに、イヤホン使用や傘差し、「ながらスマホ」の片手運転の禁止と危険性についての指導を徹底しましょう。

### 地域では

○交通安全講習等に積極的に参加するなど、自転車の交通ルールの遵守とマナーの向上に努め、お互いに自転車の安全利用を呼びかけましょう。

## 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

### 運転者の皆さんは

○後部座席を含め、全員がシートベルト・チャイルドシートを正しく着用しているか確認しましょう。

### 家庭では

○全ての座席のシートベルト着用と、幼児を車に乗せるときは、体形に合ったチャイルドシートを正しく着用させましょう。

### 学校等では

○PTA活動を通して、乳幼児・児童の体格に合ったチャイルドシートの着用や車への正しい装着方法等について指導しましょう。

### 職場では

○職場全体で、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの全席着用を徹底しましょう。

### 地域では

○街頭啓発や町内会の会合、回覧板など、あらゆる機会を通して、全ての座席でのシートベルトとチャイルドシートの正しい着用について呼びかけましょう。

## 飲酒運転の根絶

### 運転者の皆さんは

○飲酒運転は悪質で重大な犯罪であるとの認識を持ち、二日酔い運転を含め、飲酒運転は絶対にやめましょう。

### 同乗者の皆さんは

○運転者の飲酒状況を確認し、二日酔い状態も含めて、酒気を帯びている人には、絶対に運転をさせないようにしましょう。(同乗者に問われる場合があります。)

### 家庭では

○飲酒運転は悪質な重大犯罪であること、悲惨な事故やひき逃げを起こしてしまう危険な行為であることなどを、家族で繰り返し話し合うなど、飲酒運転を根絶しましょう。

### 職場では

○定期的に安全教育や指導などを行い、飲酒運転根絶の意識を浸透させましょう。  
○飲酒場所に車で行かないことや、飲酒後の帰宅手段の確認など、飲酒運転をさせないため、お互いに注意喚起のひと声をかけましょう。

### 地域では

○街頭啓発や町内会の会合など、あらゆる機会を通じて、飲酒運転の根絶を呼びかけましょう。